

中学部だより



茨城県立大子特別支援学校/中学部 臨時号

<2月16日(木) 楮の刈り取り、楮の皮むき体験>

2月16日(木) 上小川駅前の竹内商店、大子町地域おこし協力隊の石川さん、近隣の楮畑をもつ神長さんの協力を得て、楮に関する体験活動を行いました。大子町で育てた楮は「那須楮」と呼ばれ、和紙で有名な地へと送られます。東京オリンピックの賞状用紙は大子町の楮を美濃市で漉いたものです。近年、高齢化により廃業する農家が増え、大変貴重な原材料となっています。作業学習での紙すきに楮を取り入れられないか検討中です。



楮は、水はけが良く、日当たりの良い斜面で良く育つそうです。刈り取り作業は教員が行い、刈り取った楮を運ぶのは生徒が行いました。教員も生徒も初めての体験でしたが、お互い励まし合いながら約1時間汗を流しました。細くて破棄されてしまう楮を頂きました。

楮の皮むきは、蒸かして熱いうちに皮を剥きます。今回は石川さんに力を借り、学校にある道具で行いました。蒸した楮は甘い香りがして、つるりと気持ちよく剥けます。その後の作業につなげるため、割けないように剥くのがポイントです。



今回の楮体験では、もう一つ新しいことに挑戦しました。それぞれの班をオンラインでつなぎ、実況中継をしました。今までは帰校してからの報告や写真で振り返るだけでしたが、楮を刈り取る様子を見たり、刈り取り班へ声援を送ったりするなど、離れていても臨場感をもってお互いがやりとりをしながら活動ができました。